

第3学年1組 道徳科学習指導案

指導者 ○○○○

- 1 日時 令和3年6月30日(水) 第3校時
- 2 場所 3年1組教室
- 3 主題名 「いじめを許さない心」(C—(11) 公正, 公平, 社会正義)
- 4 資料名 卒業文集最後の二行(教育出版『中学道徳3 とびだそう未来へ』)
- 5 ねらい いじめの加害者が抱える自責の念や, 被害者の気持ちについて考えることを通して, 差別や偏見のない社会を実現していこうとする態度を育てる。
- 6 展開

学習活動 [時間・形態]	主な発問と予想される生徒の反応 (◎中心発問)	指導上の留意点 ◇評価
1 アンケート結果を示す。 [4分・一斉]	○ なぜ、いじめはなくならないのでしょうか。 ・ 真剣に考えていないから。 ・ 自分がいじめられるのが嫌だから。	○ 価値への方向付けをする。 ○ 内容や個人情報に留意する。
差別や偏見をなくすために、やるべきことは何だろう。		
2 資料を読む。 [15分]	○ 資料の内容の確認をする。	○ 大まかな内容をつかむことができたか。
3 T子の気持ちを考える。 [8分・個人→ペア]	○ T子は作文の最後の二行をどんなことを考えながら書きたろうか。 ・ もういじめられたくない。 ・ 見た目だけで判断しない、本当の友達が欲しい。	◇ 被害者の悲しみや苦しみに気付くことができたか。(記述・発表)
4 「私」の気持ちを考える。 [8分・個人→ペア]	○ T子の作文の最後の二行を読んで、「私」はどんなことを感じただろうか。 ・ 後悔しても、もう遅い。 ・ 謝れなかった自分は弱い。 ・ T子のつらさが今更分かった。	◇ 「私」の後悔や懺悔の気持ちに気付くことができたか。(記述・発表)
5 「私」の行動を考える。 [10分・個人→グループ]	◎ T子を救うために、「私」はどんなことができただろうか? ・ T子を助ける。 ・ 悪口を言わない。 ・ いじめに加わらない。 ・ カンニングしたことを認めて謝る。 ・ 周囲に流されないで行動する。	◇ 誰にでも公正・公平に接することが必要であると気付くことができたか。(発言・発表)
6 自分の考えをまとめる。 [5分・個人]	○ 今日の授業を通して、差別や偏見をなくすためにやるべきことは何か、考えをまとめよう。	◇ 自分の生活に生かせるように考えることができているか。(記述・発表)
7 教師の説話を聞く。		

## 第1回校内研究授業協議記録

日時：7/2（金）16:20～17:20

場所：校長室

参加者：校長、教頭、教務、各学年主任、各学年道徳担当、授業者、道徳教育推進担当（9名）

授業者：〇〇 〇〇

### ○ 自評

- 生徒がよく頑張っていた。
- あそこまでいつもは考えられない人も考えていたし、発表もしていた。
- 中心発問の切り返しをもっとうまくできれば…。サラッとってしまった。
- 3と4の順番を迷ったが、被害者に寄り添うことが第一で、そのあと加害者が二度と起こさないために、を考えさせるべきだと思い、そのような流れにした。
- 横山先生の講義を意識した発問にした。
- 板書の仕方に悩んでいる。「生徒の発表を聞いたあと、黒板に書く」か「手元にメモを取りながら、どんどん意見を聞き、あとで黒板にまとめて書く」で。

### ○ 参観者の意見

- 板書の仕方について、「メモ→黒板にまとめて書く」でもよいが、生徒の言葉の繰り返してやるといい。
- 机間巡視での声掛け、ノートへの線引きがよかった。
- まとめが弱い。公正公平のねらいについてもっと伝わるように。
- 資料の読み聞かせ方が上手で、ストーリーが頭に入りやすかった。
- 板書の横書きに違和感があった。書くときにあちらこちらに移りすぎていた。主発問がモニターだったので、最後に残らなかった。意見の対比をさせたいなら、縦書きで、上下に分けて対比することも可能である。
- 横書きは横に流れていくかと思いきや、あっちこっちにずれていくので、視点がずれる感じがあった。
- 「本当の友達とは？」の質問は話がずれるところがあった。
- 生徒への発言への切り返しをもっとあればよかった。当たり前の発言の場合、「本当にそんなことができるのか？」などと繰り返すのもよい。
- ノートを交換して意見交換するのがよかった。
- いつもは目立たない生徒に対してもうまく意見を引き出せていた。
- 発表の声の大きさが小さいのが課題。
- 話合いの時に、ノートを見るだけじゃなくて、見た後何か言葉を返してあげると話合いにつながる。ノートを見せず、口頭で考える話合いの方がお互いの練り合いが見られた。
- 板書の仕方について、「メモ→黒板にまとめて書く」というのも一つの方法ではあるが、理解の低い生徒には、話がどんどん進んでいっている感じがあるかも。
- 発問をどうしたらいいかをよく考えることが大切。
- 先生の説話をもっとほしい。
- 板書の仕方は、縦でも横でも別にいいようだ（ネット調べ）。

